

# おきたまの教育

## 人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり つなぐ～いのち、学び、地域～

魅力にあふれ、

安心・元気な学校をつくる

教職員の力をつける

「いのち」を見つめる

- 「いのちの教育」の計画的・継続的な実践
- 思いやりの心と規範意識の育成

子どもと向き合う

- 学校経営の選択と集中
- 育てたい資質・能力の共有と評価サイクルの構築

子どもの育ちと学びをつなぐ

- 幼保小及び小中の連携
- 家庭・地域との連携・協働

- 「担任力」と同僚性をはぐくむ校内研修の充実
- いじめの未然防止と体罰根絶に向けた取組の推進

# 授業を中核に、生きめく力をはぐくむ

## 考える力をはぐくむ授業づくり

## 自尊感情をはぐくむ集団づくり

### 1. 子どもの学びをつなぐ「探究型学習」の推進

- 必要感のある学びや深い思考に導くことができる課題の設定
- 精一杯考え合い、表現し合いながら協働的に問題解決する過程の充実
- 学ぶことのよさを実感できるまとめと振り返りの明確な位置付け

### 2. 授業改善につなぐ子ども理解の重視

- 確かな教材分析と子どもの実態に基づいた授業計画
- 子どもの姿で具体化した、一貫性のある目標・指導・評価と支援

### 3. 日常の実践につなぐ校内研究の充実

- 学校課題の解決に向けた次の一手の共有
- 研究の日常化を図る校内OJTの推進

### 1. 「自己指導能力」をはぐくむ生徒指導の推進

- 生徒指導の機能を生かした授業の実践
- 主体性をはぐくむ児童会・生徒会活動の工夫
- 地域とともに作る体験活動の充実

### 2. いじめの根絶に向けた取組

- 機能する「学校いじめ防止基本方針」にするための評価と改善
- 児童生徒にとっての魅力ある学級づくりの推進(絆づくり、居場所づくり)
- 部活動(クラブ活動等)におけるいじめの未然防止、早期発見、適切な対応の推進

### 3. 道徳教育の充実

- 道徳性の育成をめざした教育活動の充実と改善
- 道徳的価値の自覚や生き方を深める授業づくり

# 健康でたくましい体づくり

### 1. 発達段階を考慮した健康・安全教育の推進

- 心身の健康を保持増進するための実践力につなぐ取組の充実
- 危険を予測し、主体的に回避できる能力をはぐくむ活動の工夫改善
- 学校と家庭・地域が連携した望ましい生活習慣の形成(生活リズム・食習慣)

### 2. 健やかな体をはぐくむ学校体育の充実

- 運動の楽しさや喜びを実感できる授業の推進
- 学校と家庭・地域が連携した体力づくりの工夫

特別支援教育

## 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

### 1. 校内支援体制の充実

- 教育的ニーズの的確な把握と校内体制の強化
- 学校間及び家庭や関係機関との情報の引継と連携

### 2. 子どもの特性に応じた指導・支援の充実

- 個別的教育支援計画を活用した継続的な支援
- 個別の指導計画に基づいた適切な教育課程の編成

### 3. 通常学級での指導の充実

- ユニバーサルデザインの考えを生かした学級づくり・授業づくり
- インクルーシブ教育システムの考え方を踏まえた交流及び共同学習

幼稚園教育

## 「生きる力」の基礎を培う 環境構成の工夫

### 1. 信頼される幼稚園経営の推進

- 各園の特色を大切に教育課程の編成
- 信頼される教師の育成

### 2. 自主性と思いやりをはぐくむ指導の充実

- 遊びを通して、自主性と思いやりをはぐくむ教育の充実
- 子どもの成長を促す教師の見取り

### 3. 育ちと学びをつなぐ小学校との連携

- 滑らかな幼保小連携・接続を図る関係づくり
- 幼保小連携の一層の推進

# 平成28年度『考える力』をはぐくむ教科指導改善研究会実施要項

置賜教育事務所

## 1 ねらい

管内教員（教科研究員）と置賜教育事務所指導主事が協働しながら「考える力」をはぐくむ教科指導改善に向けた研究を進め、その成果の提案を通して、管内及び県内の学校の授業改善や校内研究の活性化に資する。

## 2 方針

- (1) 教科研究員と置賜教育事務所指導主事が、教科毎に教科研究プロジェクトチームを組織し、探究型学習の視点での授業づくりを通して、教科指導改善に向けた研究を進める。
- (2) 「平成28年度学校教育指導の重点（県版）」及び「おきたまの教育—学校教育指導の重点」並びに小中連携の視点を踏まえながら、授業を通して教科指導改善策を提案する。
- (3) 各教科のアドバイザー（学識経験者に依頼）からの指導・助言を受けながら研究を進める。
- (4) 研究の成果を「情報おきたま」「各種研修会」等で発信・普及する。
- (5) 中学校教育マイスターの事務所研修との関わりも持ちながら研究を進める。

## 3 研究計画及び日程

	期 日	会 場	内 容
(1)	5月18日(水) ※小国語部会は別日に	置賜総合支庁西庁舎	第1回全体会 ○研究のねらい・年間予定の説明、研究計画の立案 ○管内の実態の分析と、教科指導改善の視点の確認
(2)	6月～10月	置賜総合支庁西庁舎	第1, 2回教科研究会 ○教科指導改善の視点に基づいた学習指導案等の検討
(3)	9月～11月	教科研究員所属校 (学習指導研修会会場校) 置賜管内公共施設等	第3回教科研究会(兼 学習指導研修会) ○学習指導研修会で教科指導改善の視点に基づいた授業の提案と、参会者との意見交換 ○本研究に係る講演等 (講師招聘)
(4)	1月24日(火)	置賜総合支庁西庁舎	第2回全体会 ○実践発表・交流、教科指導改善策等の整理 ○本研究に係る講義等

## 4 実施にあたって

- (1) 今年度は、小学校国語科、小学校算数科、中学校数学科、中学校外国語において、各3名程度の教科研究員を委嘱する。委嘱にあたっては、小中連携の視点を踏まえながら、市町教育委員会と協議をしながら進めていく。
- (2) 学習指導研修会で、教科研究プロジェクトチームで検討した学習指導案に基づいた授業の提案を行う。また、事後研究会の持ち方等についても提案する。
- (3) 本研究に係る教科研究員の旅費は、別枠とする。なお、本研究の成果の提案等を、他の事業との関連で行う場合も、予算の範囲内で同様の扱いとする。
- (4) 研究を進めるにあたり、以下の資料を活用する。
  - ・『山形県学力等調査（試行）問題』（山形県教育委員会）
  - ・『算数・数学スパイス問題シート』（山形県教育委員会）
  - ・『全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例』（国立教育政策研究所 平成21～27年）
  - ・『言語活動の充実に関する指導事例集』（文部科学省 平成23年10月）
  - ・『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料』（国立教育政策研究所 平成23年11月）

# 平成28年度「『考える力』をはぐくむ教科指導改善研究会」名簿

※ 敬称略

## ■小学校国語科チーム

氏名	所属・職名	備考
菊地 とく	日本国語教育学会山形県支部 会長	アドバイザー
後藤 昌幸	南陽市立赤湯小学校 教諭	
梅津 純子	飯豊町立第二小学校 教諭	
須田 裕美	小国町立小国中学校 教諭	

## ■小学校算数科チーム

氏名	所属・職名	備考
笠井 健一	国立教育政策研究所 調査官	アドバイザー
田中美枝子	米沢市立東部小学校 教諭	
西山 俊樹	南陽市立宮内小学校 教諭	
内山 智江	高畠町立亀岡小学校 教諭	

## ■中学校数学科チーム

氏名	所属・職名	備考
市川 啓	山形大学 准教授	アドバイザー
星野 篤史	米沢市立第二中学校 教諭	
遠藤 幸	長井市立長井南中学校 教諭	
渡部 一喜	高畠町立高畠中学校 教諭	

## ■中学校外国語チーム

氏名	所属・職名	備考
山口 常夫	東北文教大学 特任教授	アドバイザー
松本 咲枝	米沢市立南原中学校 教諭	
尾形 浩一	高畠町立高畠中学校 教諭	
河内 昭	小国町立小国小学校 教諭	

## ■置賜教育事務所

氏名	職名	担当 (◎：教科の主担当)
堀 裕一	副所長兼指導課長	
船山 恒	主任指導主事	
落合 篤	指導主事	本研究会主担当
渡部美千恵	指導主事	小学校国語 (◎)
沼尻 貴行	指導主事	中学校数学 (◎)
後藤 潤一	指導主事	小学校算数 (◎)
丸川 利英	指導主事	中学校外国語 (◎)
土田 知良	指導主事	中学校外国語
平賀 正和	指導主事	中学校数学

# 平成28年度「学習指導研修会」実施要項

置賜教育事務所

## 1 ねらい

置賜管内から選出された教科研究員による研究授業の参観を通して、学習指導要領の趣旨に基づく『「考える力」をはぐくむ授業づくり』及び『日常授業の改善・充実につなぐ事後研究会の在り方』について研修する。

## 2 教科及び研究テーマ

教科	研究テーマ
小学校国語科	学び合いを通して、表現力を高める指導の工夫
小学校算数科	学び合いを通して自分や集団の考えが発展していく、 「考えることが楽しい」と思える授業
中学校数学科	数学のよさ、楽しさが味わえる学習指導の工夫 ～生徒の気付き・発想を生かした授業づくり～
中学校外国語	インタラクティブな活動を取り入れた授業の創造

## 3 期日及び会場、授業者等

期日・会場	教科及び単元名等	授業者	助言者
10月17日(月) 高島町立高島中学校	中学校数学科 第2学年 「一次関数」	渡部 一喜 教諭	山形大学 市川 啓 准教授
10月21日(金) 高島町立高島中学校	中学校外国語 第2学年 Unit 5 「Universal Design」	尾形 浩一 教諭	東北文教大学 山口 常夫 特任教授
10月24日(月) 南陽市立宮内小学校	小学校算数科 第5学年 「面積」	西山 俊樹 教諭	国立教育政策研究所 笠井 健一 教育課程調査官
11月4日(金) 南陽市立赤湯小学校	小学校国語科 第4学年 かわっていくごんを読もう ～新見南吉「ごんぎつね」を中心に～	後藤 昌幸 教諭	前 東北文教大学准教授 菊地 とく 氏

## 4 参加について

- (1) 各小・中学校から1名以上、参加願います。(上記4つの会場より何校でも選択可能です。)
- (2) 「小学校算数科(南陽市立宮内小学校)」については、**講演会(笠井健一 国立教育政策研究所教育課程調査官)のみの参加も可能**ですので上記(1)以外の方もぜひ参加願います。

## 5 研修内容

- (1) 置賜教育事務所及び教科研究プロジェクトチーム(※)による提案及び協議
  - ① 教科指導改善策の説明
  - ② 研究授業の参観
  - ③ 研究協議
  - ④ 国立教育政策研究所教育課程調査官及び大学教授等のアドバイザーの指導・助言
- (2) 研究協議では、教科研究プロジェクトチームによる提案に基づき、各校の校内研究推進状況等について、積極的に交流願います。

6 日程 ※会場によって、開始時刻等が違いますので、留意願います。

(1) 高島町立高島中学校【授業；数学】会場

13:00	13:20	13:45	14:35	16:35	16:45
受付	開会行事	授業参観 (50分)	研究協議 (指導・助言)	閉会行事	

(2) 高島町立高島中学校【授業；外国語】会場

13:00	13:20	13:45	14:35	16:35	16:45
受付	開会行事	授業参観 (50分)	研究協議 (指導・助言)	閉会行事	

(3) 南陽市立宮内小学校【授業；算数】会場 ▼研究協議・講演…えくぼプラザ(南陽市赤湯791番地の1)

10:00	10:20	10:55	11:40	12:50	14:20	14:40	16:20	16:30
受付	開会行事	授業参観 (45分)	移動 昼食	研究協議 (指導・助言)	受付 (講演)	講演「国立教育政策研究所 笠井健一 教育課程調査官」	閉会 行事	

(4) 南陽市立赤湯小学校【授業；国語】会場

13:10	13:30	13:55	14:40	16:40	16:50
受付	開会行事	授業参観 (45分)	研究協議 (指導・助言)	閉会行事	

7 参加申込

- (1) 学校は、参加者等について別紙様式に記入のうえ、平成28年9月21日(水)まで当該市町教育委員会あて報告願います。(メール・ファックス可)
- (2) 市町教育委員会は、別紙様式をそのまま、平成28年9月28日(水)まで置賜教育事務所指導課長あて提出願います。(メール・ファックス可)

8 その他

- (1) 参加者の旅費は、学校旅費で対応願います。
- (2) 中学校外国語(高島町立高島中学校)は「中高教員相互派遣研修」を兼ねて高等学校教員等も参加しますので、『言語活動の充実(高等学校の学習への円滑な接続に向けた対応策)』『確かな学力を育成する教科指導の在り方』についても協議する予定です。
- (3) 「小学校算数科(南陽市立宮内小学校)」の研究協議及び講演会場は、えくぼプラザ(南陽市赤湯791番地の1)となります。

(※)「教科研究プロジェクトチーム」とは、

国立教育政策研究所調査官及び大学教授等をおアドバイザーにお迎えし、置賜管内教員(教科研究員)と置賜教育事務所指導主事が協働しながら、学習指導要領の趣旨に基づく『「考える力」をはぐくむ授業づくり』について研究を進めているグループです。

	小学校国語科	小学校算数科	中学校数学科	中学校外国語
アドバイザー	日本国語教育学会山形県支部 菊地 とく 会長	国立教育政策研究所 笠井 健一 調査官	山形大学 市川 啓 准教授	東北文教大学 山口 常夫 総務
教科研究員	南陽市立赤湯小学校 後藤 昌幸 教諭	南陽市立宮内小学校 西山 俊樹 教諭	高島町立高島中学校 渡部 一喜 教諭	高島町立高島中学校 尾形 浩一 教諭
	飯豊町立第二小学校 梅津 純子 教諭	高島町立亀岡小学校 内山 智江 教諭	長井市立長井南中学校 遠藤 幸 教諭	米沢市立南原中学校 松本 咲枝 教諭
	小国町立小国中学校 須田 裕美 教諭	米沢市立東部小学校 田中美枝子 教諭	米沢市立第二中学校 星野 篤史 教諭	小国町立小国小学校 河内 昭 教諭

## 学習指導研修会の提案から

「考える力」を  
はぐくむために

置賜教育事務所では、教科研究プロジェクトチームを組織し、『考える力』をはぐくむ教科指導改善研究会」による研究を進めて参りました。その提案の場として、今年度は4回の「学習指導研修会」を実施しました。

研修会に参加された先生方の声をもとに、提案授業の成果をまとめてみました。



**中学校数学**（10月17日） 2学年 一次関数（題材：ピックの定理）  
高島町立高島中学校 授業者 渡部 一喜 教諭

点の数（図上点と内部点）と面積の対応表から一次関数の関係があることを理解し、その関係について説明することができる。

《参加された先生方の声》

○生徒の言葉を拾いながら授業をコーディネートしていたこと、停滞を感じると必ず全体で確認を入れているところなど、生徒の思考に寄り添って授業されていることがよくわかった。

○子ども達の言葉を使って課題設定や「辺点」「内点」などのネーミングが行われておりとてもよかった。



○「あっ分かった!」「ほんとだ!」「おーすごい!」等の声がいろいろな班から聞かれ、生徒が数学を楽しんでいる場面をたくさん見る事ができた。

○生徒にとって必然性のある課題設定により、子ども達は熱心に課題追究に取り組めることをあらためて実感できる授業だった。持ち帰って自分でもやってみたいと思った。

○教材のおもしろさやそれに対する教師の思いを、限られた時間の中でどう計画していくかについて考えさせられた。



**中学校外国語**（10月21日） 2学年 Unit5 Universal Design  
高島町立高島中学校 授業者 尾形 浩一 教諭

接続詞 that (I think that～.) を用いて、積極的に英語で話そうとする。

接続詞 that を用いて自分の考えや思いを伝え、さらにもう1文理由を付け加えて意見を交換することができる。

《参加された先生方の声》

○All English は“生”の英語なので効果は大きいということを実感した。

○英語のシャワーを浴びせることが大切であるということに改めて感じた。

○英語におけるインタラクティブな活動を促すためのICTの効果的な活用（モデル文、本時のゴールの姿の提示等）の仕方を学ぶことができた。

○ドリル場面での先生方を題材にしたクイズ、高島のNo.1 スポットなど、身近な話題を取り入れていて、生徒も驚きや発見が多かったと思う。

○パターンプラクティスがとても丁寧（全体から個人、個人から全体の練習）で、本時のキーセンテンスをほぼ全員が一度は全体の前で話す機会があった。

○本時のゴールとしてどこまでねらうのかについて考えさせられた。ねらいを絞りより明確にしていく必要があると思った。





**小学校算数**（10月24日）5学年 面積  
南陽市立宮内小学校 授業者 西山 俊樹 教諭

既習の図形である長方形・三角形・平行四辺形などの面積の求め方に帰着させ、台形の面積の求め方を考えることができる。

《参加された先生方の声》

- 単元を通して子ども自身が「やってみよう！」と思えるしかけで展開されていた。「陣取りシート」の図形も大変よく吟味されていた。
- 「前に出て説明します。」「相談させて下さい。」など、自ら行動する子ども達の前向きな姿が素晴らしかった。
- 友だちの考え方について、式だけ見せる、図だけ見せるという部分的な提示が、子ども達に思考を促すものになっていた。
- 普段からの3人グループでの学び合いが、とてもよい雰囲気の中で行われていた。「〇〇法」が学級内で共有されており、前時までの考え方が本時で生かされていた。
- 見通しに時間をかけることで一人一人がしっかり取り組めるよさはあるが、追究する意欲やグループで考える必要感が弱くなったり、交流の時間が短くなったりする面もある。



**小学校国語**（11月4日）4学年 読んで考えたことを話し合おう「ごんぎつね」  
南陽市立赤湯小学校 授業者 後藤 昌幸 教諭



松たけをひろっては兵十の家にとどけるごんの様子を想像しながら読み、友だちと考えを交流することを通して、毎日兵十に会いに行くごんの気持ちについて考える。



《参加された先生方の声》

- 細やかな準備や前時の流れがよくわかる掲示物がとても参考になった。今までの固定観念に新しい風が吹き込んだように感じた。
- おさえない表現や気付かせたいごんの気持ちなど、教師が取り上げるべき本時の学びを明確に持ち、授業を組み立てることの大切さを感じた。
- 付箋を使って自分の考えをはっきりさせる、ネームプレートで立場をはっきりさせる、変容を感じとらせるなど、有効な手段を様々学んだ。
- 研究協議の際の授業者からの言葉に児童名が出ていて、この単元で育てていきたいことが語られていて感心した。担任の思いのある授業が大事であることを改めて感じた。
- グループ活動でも全体の活動でも、全員が発言する場の設定が難しいと思った。

4つの貴重な提案授業をもとに、参加者による活発な研究協議が行われました。また、アドバイザーの先生方に授業に対するご助言もいただき、どの回も学びの多い大変充実した研究会となりました。ご参加いただいた先生方、教科研究員の先生方、また会場を提供して下さった会場校の先生方に感謝申し上げます。

## 「考える力」をはぐくむ教科指導改善研究会 「授業づくりのポイント」提案

No.85号でもお伝えしましたが、置賜教育事務所では教科研究プロジェクトチーム（今年度は4教科）を組織し、「『考える力』をはぐくむ教科指導改善研究会」による研究を進めて参りました。2月に実施されました本研究会では、教科研究員による実践交流が行われ、1年間の研究成果についてチームで共有を図りました。

1年間の研究を基に、各教科チームごと3点の「授業づくりのポイント」と、「キャッチフレーズ」をまとめました。授業で大切にすべきポイントが詰まっておりますので、今後の授業づくりの参考にいただければと思います。

### 小学校 国語

教科研究員 後藤 昌幸（南陽市立赤湯小学校）  
梅津 純子（飯豊町立第二小学校）  
須田 裕美（小国町立小国中学校）

#### 課題解決に必要な学び合いや書く活動の 効果的な位置付けによって、言葉の力を育てる授業に！

- 教師の願いと子供の思いを重ね合わせながら、子供が主体的に学ぶことができるような課題を設定する。
- 必要感のある学び合いの場を設定し、課題解決に向かう着眼点を明確にする。
- 表現力を高め、他教科や日常生活場面で生かす力とするために、書く活動を効果的に位置付け、言葉の力が付いたかどうか適切に評価する。



### 小学校 算数

教科研究員 田中美枝子（米沢市立東部小学校）  
西山 俊樹（南陽市立宮内小学校）  
内山 智江（高畠町立亀岡小学校）

#### 子供から「問い」を引き出し、 学び合いを通して能動的に学びを深める授業に！

- 「あれ？」「なぜ？」「どっち？」などと思わせる場の設定により、子供の問いを引き出し、能動的な学びにつなげる。
- 学び合いに「友だちの考えを推測する場」「新たな見方に触れる場」を設定することにより、全員に考える必要感を持たせ、探究的な問題解決につなげる。
- 本時の目標と整合性がとれた適用問題と明確な評価基準（A・B基準）の設定により、本時でねらった力が本当に付いたのかを適切に評価する。



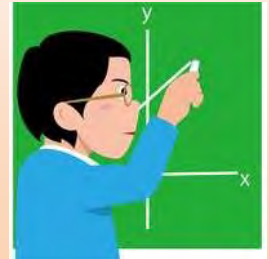


# 中学校 数学

教科研究員 星野 篤史（米沢市立第二中学校）  
遠藤 幸（長井市立長井南中学校）  
渡部 一喜（高畠町立高畠中学校）

## 解決したくなる課題を提示し、深い学びに導くことで数学のよさを実感できる授業に！

- 教科の本質に迫り、付けたい力を明確にした単元構成を行う。
- 生徒の問いを引き出す教材開発と数・式、図、表、グラフ等を活用し、互いの思考に触れながら、考えを洗練させる過程を充実する。
- 数学的に考えることのよさや、課題を解決できた喜びを実感できる活動や振り返りの場を設定する。

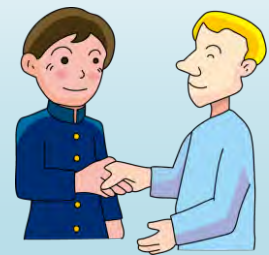


# 中学校 外国語

教科研究員 松本 咲枝（米沢市立南原中学校）  
尾形 浩一（高畠町立高畠中学校）  
河内 昭（小国町立小国小学校）

## インタラクティブな活動を取り入れ、コミュニケーション能力を高める授業に！

- 生徒が「話したい!」「伝えたい!」と思えるような身近な話題や場面を取り入れた、必然性のある言語活動を位置付ける。
- コミュニケーション能力を高めるための、自分の思いや考えを伝え合うインタラクティブな活動を工夫する。
- ルーブリック、CAN-DOリスト等により、学習目標を明確にするとともに、振り返りや評価の方法を工夫する。



### おきたまの教育 平成28年度置賜教育事務所 学校教育指導の重点

人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり つなぐ～いのち、学び、地域～

**「いのち」を見つめる 安心・元気が学校をつくる** 教職員力を高める

**子どもを伸ばす 子どもの育ちと学びをつなぐ** 個性・能力の発達の促進

**授業を中核に、生き生き力を伸ばす** 学習意欲の向上

**育える力を伸ばす授業づくり 自尊感情を高める集団づくり**

**1. 子どもの学びを促す「授業づくり」の推進**

- 必要となる学びや深い理解に導くことが出来る授業の作成
- 統一した考えや意識をもち、互いに協働的に授業を進める授業の実践
- 学びのよさを実感できるまなざしと学びの場の形成を図る

**2. 授業改善に向けた子ども理解の促進**

- 様々な教材・学習活動に基づいた授業計画
- 子どもの発達段階に合わせた授業の実践
- 授業の振り返りや評価の工夫

**3. 自らの実践に向けた学びの促進**

- 授業の振り返りや評価の工夫
- 研究の日常化を図る

**4. 地域連携の推進**

- 地域の資源を活用した授業の実践
- 地域との連携を図る

**5. 生涯学習の推進**

- 生涯学習の推進を図る
- 生涯学習の推進を図る

**特別支援教育** 一人一人の教育ニーズに応じた個別対応の推進

**特別活動** 生活習慣の形成を促す

**1. 生活習慣の形成を促す**

- 生活習慣の形成を促す
- 生活習慣の形成を促す

**2. 自主性と責任を促す**

- 自主性と責任を促す
- 自主性と責任を促す

**3. 協働性を促す**

- 協働性を促す
- 協働性を促す

今年度の取組の成果を「実践記録集」としてまとめ、置賜教育事務所HP【<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoiku/706003/>】にアップします。

教科研究員の先生方の実践（指導案等）も掲載しますので、ぜひご覧ください！

平成29年度のスタートに向け、置賜教育事務所ではリーフレット「29年度版 おきたまの教育（学校教育指導の重点）」の発行に向けて現在準備を進めております。

「29年度版 おきたまの教育」は、4月1日に各学校にお届けする予定です。先生方お一人に1枚ずつお配りしますので、校内研究の推進、授業づくり、集団づくり等にご活用下さい。